

令和5年度1学期 学校教育評 分析と課題

2023年9月19日

保護者アンケート回収率96.5%

1 学校経営

内容	分析・重点取組事項
(11)生徒は、目標を立てて努力している。	<p>・コロナの5類引き下げに伴い、様々なことが今までどおり実施できるようになってきました。大風合戦も4年ぶりに実施され、地域の方に生徒の活躍を見ていただきました。総体も観客の制限を行わず、応援していただくことができました。そうしたことが、生徒の学校生活が充実していると感じられた要因だと思います。しかし、目標を立てるという面では、まだまだ十分な取組ができていないようです。今後、様々な場面で目標を持たせ、さらに充実した活動になるよう取り組んでいきたいと思っています。</p>
(13)生徒の学校生活は、楽しく充実している。	
(16)生徒は、学校の行事に満足している。	

2 教育課程・学習指導について

内容	分析・重点取組事項
(5)学校は、分かりやすい授業を行っている。	<p>・TBや電子黒板の活用などにより、生徒たちが意欲的に学習に取り組んでいるということは、(5)の肯定率が示していますが、その学習が定着していないようです。学習時間については、誰もが少なく感じているようです。学習習慣の定着が課題であるといえます。今後、具体的な学習の方法を指導したり、適切な課題を出したりすることで、学習習慣の確立を図っていききたいと思います。</p>
(9)生徒は、基本的な学習内容が定着している。	
(10)生徒は、家庭学習を1日平均2時間以上している。(塾も含む)	

3 生徒指導について

内容	分析・重点取組事項
(2)学校は、いじめに対して真剣に取り組んでいる。	<p>・(2)(3)の回答率が昨年度に比べると微増していますが、ご意見いただいたように、学校の取組が見えないことが課題であるといえます。問題があった場合は、学年主任を中心に、学級担任、養護教諭やスクールカウンセラーとチームで対応しています。生徒の声を聞き逃さないよう、家庭の理解を得ながら、根気強く取り組んでいきます。そして、学校から取組を発信する方法も考えていきたいと思っています。</p> <p>・挨拶については、地域からはよくできると褒めていただけていますが、生徒や保護者はまだできると感じているようです。今後も、家庭や地域で気持ちのよい挨拶ができるように、校内での指導を継続していききたいと思います。</p> <p>・交通ルールについては、一部ですが守れていないという情報もいただいています。「自分の命は自分で守る」ということをもう一度押さえ、交通ルールを守っていくよう指導していききたいと思います。</p>
(3)学校は、不登校に対して真剣に取り組んでいる。	
(4)学校は、生徒が相談したことに対して適切に対応している。	
(6)生徒は、あいさつがよくできる。	
(7)生徒は、交通ルールを守っている。(自転車の乗り方等)	
(8)生徒は、思いやりの気持ちを持ち社会のマナーを守っている。	
(10)学校は、心や体の健康に気をつけ、処理や連絡をしている。	

4 健康・安全管理について

内容	分析・重点取組事項
(12)生徒は、家で規則正しい生活をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者は昨年度に比べ、生徒たちの生活を心配しているようです。SNSの使用についても内子町のルール等を意識して使用できているでしょうか。今後も学活やホームルーム等で話題に取りあげ、SNS等の弊害を啓発していきます。ご家庭のご協力をよろしくお願いいたします。 ・事故防止の観点で、気になる点は修繕を行っています。生徒の安全を第一に考え、今後も環境整備に力を入れていきたいと思えます。
(14)生徒は、SNSの機器(スマホ等)を内子町のルールを守って利用している。	
(17)学校は、生徒の安全を考えて、環境を整備している。	

5 保護者・地域との連携について

内容	分析・重点取組事項
(1)学校は、通信、HP等で学校の様子を分かりやすく伝えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校便りやHP、マチコミメールを活用して、情報の発信に努めてきました。その成果もあり、肯定率も高くなっています。今後も情報発信に努めていきます。また、生徒は家庭でもしっかり会話ができているようです。家庭で学校生活の様子などを聞いていただくとありがたいです。今回も学校評価をWEB上で行いましたが、58%の回収にとどまりました。紙媒体による回答を用意することで、96.5%の回収ができました。徐々にwebの回収率も上がっています。後期の学校評価についても、両方活用できるように準備していきます。
(15)生徒は、家の人と会話をしている。	
(19)保護者は、学校や地域と連携を図っている。	